



2025年5月9日

各位

会社名 積水化成品工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 柏原 正人  
(コード番号 4228 東証プライム)  
問合せ先 取締役専務執行役員  
コーポレート戦略本部長 佐々木 勝巳  
(TEL.03-3347-9618)

### 新中期経営計画「Going Beyond 2027～変革と完遂～」策定について

当社は、2025年度から2027年度までの新中期経営計画「Going Beyond 2027～変革と完遂～」を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 新中期経営計画「Going Beyond 2027～変革と完遂～」

当社は、2030年に目指す事業の方向性として「Target2030」を策定しております。新中期経営計画「Going Beyond 2027～変革と完遂～」では、「持続可能社会への貢献」と「持続的な企業価値の向上」の両方を掲げた「Target2030」の基本方針・基本戦略に則り、2030年度営業利益率8%とROE8%の達成に向けて、高収益事業へのポートフォリオ変革を完遂し、収益性向上を最重要視した3カ年計画として、全員経営で取り組んでまいります。

#### (1) 基本方針

〔計画名称〕 『 Going Beyond 2027 ～ 変革と完遂 ～ 』

〔基本方針〕 ◆意識・行動変革による「収益力の強化」と「経営基盤の強化」を完遂し、企業価値向上に繋げる

- ＜注力ポイント＞
- ・ インダストリー分野における新領域の創出とグローバル事業の拡大
  - ・ ヒューマンライフ分野における安定的な収益拡大と環境貢献ビジネスの強化
  - ・ 生産革新と現場力強化、DX推進によるコスト競争力強化
  - ・ 人的資本経営と資本効率を意識した経営の推進

(2) 重点課題

1) 収益力の強化 ～新たな価値創造、ビジネスモデル変革を通じた事業ポートフォリオ変革～

① 収益基盤の強化と収益力向上

- ・高付加価値品への資源集中による収益力の強化  
⇒ インダストリー分野での事業拡大（新領域：モビリティ・エレクトロニクス・医療健康に注力）
- ・資源循環、省資源など環境を切り口としたシェアアップと収益力向上  
⇒ ヒューマンライフ分野での基盤強化
- ・グローバル戦略再構築による収益拡大  
⇒ グローバル地域戦略の明確化と収益拡大（米州強化）、新市場の探索
- ・開発品の早期市場投入および新領域の創出  
⇒ 新規開発品での事業貢献：売上高45億円  
⇒ テクポリマー・テクノゲル・ST-Eleveat・ピオセラン・Fluxflow・その他高機能新素材開発によるマーケティングおよび新たな価値創造
- ・事業の見直しによる利益率向上  
⇒ R O I C の考え方導入による撤退も含めた各事業評価と管理の徹底・取捨選択

セグメント別営業利益	2024	2027
インダストリー	4億円	47億円
ヒューマンライフ	31億円	31億円

新領域ターゲット

モビリティ	次世代自動車構造材など新規部位獲得
エレクトロニクス	情報通信高速化材料、 新型ディスプレイ内部材での実績化
医療健康	生体センシング分野に注力

	2024	2027
インダストリー分野利益比率	約49%	60%以上
海外売上高比率(Proseat除)	24%	35%
開発品営業利益	5億円	10億円以上

② 環境貢献ビジネスの収益力強化

- ・環境貢献製品の創出と市場投入の加速（ReNew\*製品群・住環境・土木製品群等の拡大）  
⇒ S S P を事業の核に社会課題解決型事業、循環型ビジネスの確立と収益化

	2024	2027
S S P 売上高比率	20%	30%
S S P 登録件数	57件	80件

※「SSP」：サステナブル・スタープロダクト（環境貢献製品）

③ 生産革新と現場力強化によるコスト競争力の強化

- ・DX推進によるあるべき姿の追求と事業プロセス強化
- ・生産活動全般における効率性に拘った革新技術・仕組みの導入推進
- ・SKG改善活動を中心にした現場力強化で改善成果向上と人材の育成  
※「SKG」：積水化成品グループ

	2022～2024年	2025～2027年
成長投資額	44億円	70億円

- ・新領域拡大 24億円
- ・米州モビリティ領域能力拡大 10億円
- ・エレクトロニクス領域能力拡大 10億円

2) 経営基盤の強化 ～資本効率性、環境、社会、ガバナンスの追求～

④ 資本効率と資本コストを意識した経営の実践

- ・資本効率向上に向けた社内体制や経営判断プロセスの構築  
⇒ R O I C を活用した事業評価、分析による事業ポートフォリオの改革
- ・効果的・効率的な投資判断と財務管理の推進  
⇒ 成長性と健全性を意識した投資計画の策定と遂行、低稼働資産の見直し、有利子負債の圧縮（20%目標）
- ・株価を意識した活動の推進  
⇒ ステークホルダーから信頼される I R 広報活動と対話の推進強化  
⇒ 政策保有株式の見直し  
⇒ 収益力アップ・安定的な配当・魅力ある発信で企業価値向上・PBR改善

⑤ 環境・社会課題解決に向けた取組み強化

- ・気候変動対応取組みの推進  
⇒ 太陽光 P P A やボイラー転換による C O 2 削減の推進
- ・資源循環推進と企業価値向上に向けた情報公開の強化

	2024	2027
CO2排出量削減(18年比)	27%	30%以上
リサイクル・バイオ原料使用比率	18%	30%以上

⑥ 人的資本経営の推進とガバナンス強化

- ・従業員エンゲージメントの向上とダイバーシティの推進  
⇒ 働きがいのある企業風土の醸成・ワークライフバランス充実に向けた取組み強化、女性活躍支援と事業を支える人作りの強化
- ・持続的成長を支えるグループガバナンスの強化  
⇒ グローバルガバナンスのモニタリングの枠組みの整備

	2024	2027
女性管理職比率	6%	8%以上
女性社員比率	17%	18%以上
女性採用比率	28%	26%以上

(3) 定量目標

連結目標	2024 年度 (実績)	2025 年度 (計画)	2027 年度 (計画)	Target2030 (目標)
売上高	1,370 億円	1,140 億円	1,000 億円	(1,200 億円)
営業利益	6 億円	18 億円	45 億円	(100 億円)
営業利益率	0.5%	1.6%	4.5%	8.0%以上
経常利益	1 億円	14 億円	43 億円	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△62 億円	0 億円	29 億円	-
ROE	-	-	6.0%	8.0%以上

(億円未満は切捨てで表示しております)

※2025 年度上期計画には Proseat 影響を含む (営業利益△12 億円、当期利益△27 億円)

※Target2030 の売上高および営業利益は Proseat 分を除外して焼き直している

以上